

KANAGAWA **看護だより**

Vol. **178**

2018年1月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901代 FAX.045-263-2905
<http://www.kana-kango.or.jp/>

平成29年度 会員数 35,328人

(平成29年11月20日現在)



▲作業療法室でリハビリ頑張っています



利用者さんも
元気いっぱいハイタッチ！



夏祭り
私も太鼓の達人です



港南のシンボル「トッチー」です



交流ラウンジにはカフェもあります



▲音楽の時間
みんなで楽しく歌いましょう♪



【今月の表紙】

社会福祉法人十愛療育会

横浜医療福祉センター港南

→施設の紹介は12ページに掲載しています

CONTENTS

- ◆「新春に寄せて…」……………2
- ◆スペシャリストが行く「呼吸療法認定士」…3
- ◆健康ひろば
- ◆「患者さんのための季節料理」…4～5
- ◆目からウロコのお役立ち情報
- ◆「スマホ老眼」……………6
- ◆県民のための講演会「日本人は命をどう考えたか」/私のヒーリングタイム…7
- ◆支部コーナー……………8～9
- ◆役員の推薦及び立候補について/理事会報告……………10
- ◆お年玉プレゼント/昨年度当選者の喜びの声……………11
- ◆こんにちは事務局です/表紙の写真/編集後記……………12



新春に寄せて…

県民の皆さまの期待に 応えられるよう看護職をサポート

公益社団法人神奈川県看護協会会長 花井 恵子

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、神奈川県看護協会活動の事業運営に、ご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。今年度も変わらぬご厚情をよろしくお願いいたします。

看護職は人々の健康・成長・生活を支援

看護職は、人間がこの世に生を受けた時から、人生の最期を迎える時まで、常に人々の傍に居て、疾病を持つ患者さまへの看護のみならず、健康支援・成長支援・生活支援など、多くの役割を担っています。そして、その大きな役割を担うためには、私たちのたゆまない努力が必要です。

それらのことは、看護職をめざす学生時代から始まっています。次世代を担う皆さまにも、今後、看護職に寄せられる期待に対して、応えられる職業人として成長していただきたいと考えています。

「地域看護」「労働環境」「災害対策」の3つを重点事業に

看護職の皆さまには、県民に対して、質の高い支援ができるよう、看護協会の理念である生命・自律・情熱の三つのことを基本において、看護実践に生かしていただきたいと考えています。

今年度は重点事業として次の3点について、取り組んでいます。

“地域看護に従事する看護職の資質向上と支援”

“看護職の労働環境の整備推進と就業支援”

“災害対策の充実”

課題も多くありますが、皆さまと一緒に着実に進めてまいりたいと思います。

さて、一昨年からスタートした新しい「会員情報管理システム【ナースシップ】」は、皆さまのご協力により、安定した運用になりつつあり、ここに改めて感謝申し上げます。

「施設会員」並びに「個人会員」の皆さまも、引き続き、円滑な手続きにご協力をよろしくお願いいたします。多くの看護職の皆さまに入会していただき、組織の力を高め、これからの県民の健康と福祉と生活をサポートできる職能団体として、邁進してまいります。

スペシャリストが行く！

Activity of specialist

呼吸療法認定士※1

呼吸ケアにより、 安心・安楽な 在宅生活の継続を支援する



都筑区医師会訪問看護ステーション
管理者 宮島 佳代

呼吸療法認定士の資格を取った経緯

呼吸ケアとの出会いは、大学病院の集中治療室で、術後の肺合併症に対し排痰ケアを行っていた時にさかのぼります。

その後、念願だった訪問看護を20年前に始め、自宅で医療機器が揃っていない中、自分の手や耳を使いアセスメントする必要性を強く感じました。その中で呼吸ケアは、リラクゼーション効果や入浴などによる呼吸困難感の早期回復を促し、排痰ケアにより肺炎悪化の予防につなげるなど、訪問看護でこそ生かされるのではないかと感じ、更に学びを深めたいと思い呼吸療法認定士の資格をとることにしました。

資格を取得してからの日々の活動

当訪問看護ステーションは、1か月平均利用者170名、約1100件の利用者に訪問しており全国平均の約3倍と規模が大きいステーションになります。そのため、医療保険と介護保険の割合が全国平均2：8のなか、5：5と神経難病や心身障害、呼吸器疾患など医療依存度の高い利用者が多いことが特徴です。

常時、NPPV※2とTPPV※3装着者10名前後に訪問しています。呼吸ケアが必要な利用者が多いため、呼吸リハビリに力を入れ、新人研修にも組み入れています。全スタッフが利用者の病状に合わせ、早期から呼吸ケアを行えるよう努めています。

また、これまでにALS利用者の希望により在宅医の指示のもと、自宅でNPPV導入支援を2名に行いました。マスク選択から呼吸器の設定まで自宅で行う事は、24時間の呼吸状態が把握しにくいと難しいところもあります。当ステーションの3名の呼吸療法認定士とともに、利用者の要望や不安を確認し、

病状の変化や自覚症状の訴えに合わせ、呼吸器のデータをもとに、導入からその後の設定変更も往診医に相談・提案しています。

今後の仕事に対する想い

訪問看護師として利用者を支えていく上で呼吸ケアは不可欠であり、利用者の状況に合わせたケアが提供できるように選択する引き出しは多く持っておくことが必要となります。ここ数年、訪問看護師養成講座で呼吸ケアについて講義する機会をいただき、自分自身の振り返りの機会にもなっています。

今後も利用者の思いに寄り添い、理解し、効果的なケアが提供できるようにステーション全体でスキルアップしていきたいと考えています。



都筑区医師会訪問看護ステーションのスタッフたちと宮島さん
(前列左から3人目)

※1：呼吸療法認定士とは、3学会（特定非営利活動法人日本胸外科学会、一般社団法人日本呼吸器学会、公益社団法人日本麻酔科学会）合同呼吸療法認定士認定委員会が交付する資格で、5年毎に認定の更新を必要としています。

※2：気管挿管や気管切開をせず、口や鼻にマスク装着だけで空気を肺に送る人工呼吸器

※3：気管に直接チューブを挿入しそこに装着して、空気を送り込む人工呼吸器

季節料理 患者さんのための

入院中でも食べる喜びを！

バイキングで 好きな物を選んで楽しく

バイキング

ひなまつり

ミキサー食
バイキング

独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
管理栄養士 木場 美紀

こども医療センターは、こども専門病院と障害児入所施設からなる総合医療・福祉施設です。

病院の食事で長く育つこどもたちも多く、また小児期は色々な食の体験が必要な時期です。食事は栄養バランスを考えながら、和洋中の献立を幅広く取り入れ、季節の果物や行事食なども楽しめるようにしています。

人気メニューはこどもらしく、揚げパン、ナン&カレー、麺類などですが、No.1は何と言ってもから揚げです。

安心・安全でおいしいだけでなく、楽しい給食を心掛け、長期入院で外泊もできない方が多い病棟では、ランチバイキングやたこ焼きパーティー、お菓子作りなどのイベント食を実施しています。夏には流しそうめんを楽しみました。

バイキングでは、自分で好きなものを好きなだけ選べ、リクエストした料理も並びます。食欲がない子ども普段より食事量が増え、友達やご家族と一緒に笑顔を見せてくれる楽しいひとときです。

毎日の食事が治療の助けや成長に大切であることを伝えていくため、食育を取り入れたイベント食なども取り組んでいきたいと思っています。

「地域で一番美味しい食事」 をモットーに

元旦のお頭付き
おせち料理食欲不振の方のための「こゆるぎ食」
ピラフ（上）とホットドック（下）

東海大学医学部附属大磯病院
管理栄養士 吉田 千夏

東海大学医学部附属大磯病院では、患者さんにとって安心・安全で、治療に貢献する食事であることはもちろん「地域で一番美味しい食事」をモットーに献立を工夫して提供しています。その工夫の一つとして、患者さんに季節感を味わっていただけるよう、四季ごとにメニューを変更することに加え、月1回以上の行事食を取り入れています。

行事食は年末年始に提供機会が多く、大晦日には年越しそば、元旦にはお頭付きの鯛が付いたおせち料理、1月7日には七草粥を提供しています。行事食には毎回メッセージカードを添えています。元旦の朝食には祝い箸と折り鶴も添えて、よりお正月らしい気分を味わっていただけるようにしています。

また当院の特色として、化学療法等で食欲不振の患者さんも召し上がりやすいピラフやホットドックを提供する「こゆるぎ食」や、咀嚼や飲み込みの機能が低下した患者さん向けに歯茎で潰せる程度まで軟らかく調理した「ソフト食」があります。

様々な患者さんに対応できる食事の提供を心がけ、治療の一環としての役割を担っています。

麺料理に 細やかな配慮を

1月、ハレの日を
演出するランチョン
マットで正月気分を7月から9月に提供
する冷たい麺料理

医療法人社団 医誠会
湘陽かしわ台病院
管理栄養士 山岡 知恵子

湘陽かしわ台病院では、月に1回、季節を感じていただく行事食を提供しています。1月は、お正月料理、七草など季節を盛り込んだ食事があります。食事トレーにランチョンマットを敷き、ハレの日を演出します。その他、サイクルメニューの中に季節を盛り込んだ献立を取り入れるようにし、行事食と季節限定メニューで、四季を感じてもらおう努めています。

今回は、夏の冷たい麺の献立を紹介します。例年、7月から9月の献立に冷たい麺の献立を取り入れ、当日の天気と気温によって、冷たい麺を提供するか、温かい麺を提供するか厨房の調理師と相談して決めます。麺はトッピングと一緒に盛り、汁は汁椀に入れて、分けて提供します。配膳に時間がかかった場合、麺が汁を吸ってしまうのを防ぐためです。麺類は、常食の患者さんのメニューとなっていますが、常食以外の患者さんでも看護師と患者さんと相談し、麺類を提供することがあります。

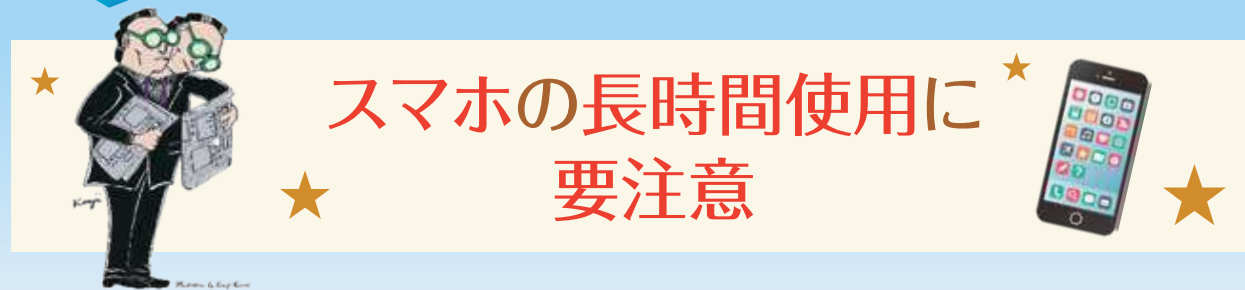
できるだけ、多くの患者さんに食事の楽しみを味わっていただけるよう心がけています。

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

スマホ老眼

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は「スマホ老眼」について、東海大学医学部眼科 特任教授 河合憲司先生に解説していただきました。



スマホ老眼とは？

最近、20代、30代の若い人たちのあいだで「手元の文字が見づらい」「近くのものにピントが合わず、視界がぼやける」などといった老眼のような症状に悩む人が増えています。これは、スマートフォン（スマホ）などの長時間の使用による「スマホ老眼」と呼ばれる症状です。

ピントを合わせることを調節といい、この調節にかかっているのが「毛様体筋」という筋肉で、水晶体を引っ張ったり緩めたりしています。スマホを長時間使っていると、目の中の毛様体筋に長時間負荷が加わり水晶体を膨らませ続けるため、調節緊張を発生し焦点を合わせる機能に異常がでます。スマホから目を離し遠くを見ると、一時的にかすんで見えることがあり、このような状態が続くと、近くも見づらくなることが懸念されます。これが『スマホ老眼』と呼ばれる症状です。

若い世代にみられるスマホ老眼の場合、症状は一時的なことが多く、疲れの度合いによって視力が安定しないことも特徴のひとつです。スマホ老眼を放っておくと、見えにくいだけでなく、集中力の低下やイライラを招き、肩こりや頭痛などの全身症状が出ることもあります。

スマホ老眼と老眼との違い

老眼は、加齢によって眼の水晶体（レンズ）が硬くなり、調節機能が低下することで、近くのものにピントが合いにくくなる状態のことです。通常、その初期症状が現れるのは40歳代ぐらいといわれています。一方「スマホ老眼」は、20から30代の青年期後期から壮年期初期の方に一時的に老眼のような症状が起こることを言います。

スマホの画面の目と脳への影響

スマホなどのLEDディスプレイやLED照明には、ブルーライトが多く含まれています。ブルーライトとは、ヒトの目で見ることのできる光の中で、もっとも波長が短く、強いエネルギーを持っており、紫外線のように角膜や水晶体で吸収されずに網膜まで到達します。その

ため網膜光障害が起きやすいと言われています。またこのブルーライトは、睡眠サイクルや体内時計を制御するホルモンであるメラトニンの生成を抑制してしまいます。メラトニンが減少すると、眠りにつきにくくなったり、夜中に何度も目が覚めてしまったりします。できるだけ眼の負担を軽減できるよう、スマホの画面設定を調節するのも良いことです。

まず、Yahoo! や Google などの背景が白いページを選び、モニタの「明るさ」を調節しましょう。白い部分がライト（照明）のように感じられたら明るすぎ、グレーやくすんだ色に見えたら暗すぎです。

次に、読みやすい文字サイズに設定することも大切です。カラーは、薄い背景の上に濃い文字というのが眼に優しく、白い背景の上に黒文字が一番読みやすいといわれます。

また、ブルーライト対策には、ブルーライトカットのメガネや液晶スクリーン用保護フィルムを使うのも良いでしょう。厚生労働省のガイドラインでも「1時間のVDT（デジタルディスプレイ機器）作業を行った際には、15分程度の休憩を取る」ことが推奨されています。

スマホ老眼にならないための対策

スマホと目の距離は25～30cmが最適で、使用中の姿勢にも気をつけましょう。スマホ画面の明るさも、まぶしすぎるのは良くありません。10分に1回は天井を見て、毛様体筋および首周りの筋肉を休めることも大切です。また、40度の蒸しタオルを10分ほど目に当てるなど良いといわれています。



イラスト：河合 憲司

神奈川県看護協会 県民のための講演会

～命は先祖から子孫へと

受け継がれていくもの～



講師の宮田修氏

県民のための講演会が9月26日（水）県総合医療会館7階講堂で開催され、163名の方々が参加されました。講師には、NHKを退職後、神職の道へ転身された宮田修宮司さんをお迎えして「日本人は命をどう考えたか」というタイトルで講演していただきました。アナウンサーから宮司になられたきっかけや、なかなか聞くことのできないアナウンサー時代の思い出話を、楽しく話してくださいました。

神主の資格は、2年間の通信教育で取得されたとのこと。第2次世界大戦以前の日本の伝統的な物の考え方をとても興味深く学ばれましたが、大戦を境に日本人の考え方が変わったそうです。

戦後の日本人は「私の命は私のもの」と考えている。しかし、戦前の日本人は自分だけのものとは考えず「両親・祖

父母・祖先がいるから自分がいる、命はご先祖から預かっているもので、子供や子孫を通じて伝えていくもの」と考え、ご先祖様に感謝して生活していたのだと。

特に宮田宮司さんが感動された「中今を生きる（過去から未来への時の流れの中の今を生きるという意味）」という日本人の伝統的な考え方を若者や子供たちに教えることが、しあわせにつながるのではないかと考え、活動されているということでした。

大変聞き取りやすく、親しみやすい話し方で思わず吸い込まれるように聴き入ってしまい、あっという間の90分でした。私も「中今を生きる」を胸に生活していきたいと思っています。（広報出版委員会 清田光子 島村まゆみ）



講演会場の様子

毎日をHAPPYにする 私のヒーリングタイム

呼吸でこころとからだをつむぐ

北里大学東病院
看護師 羽田野 真由美

看護の仕事は、肉体的にも精神的にもエネルギーを消耗します。人と関わる仕事であるが故の達成感や充実感もありますが、その分ストレスもあります。

新人ナースのころに「こころ穏やかに平常心で仕事をするためには、自分のフィールドを持っていることが大切」と教わり、そのことは私のテーマとなりました。

最近の私にとってのストレス発散はヨガです。呼吸でこころとからだを紡ぎ、気持ちよく汗を流すことで、穏やかさを取り戻すことができます。ヨガは時間と場所を選ばず一人のできるもので、気軽に始められ自分のペースにあわせて続けることが可能です。興味のある方はぜひ始めてみませんか？



旅先の宮古島の海岸でヨガのポーズをとる羽田野さん



支部コーナー

このコーナーでは、各支部の活動やお知らせを掲載しています。
今回は、川崎、横浜北、横浜西、横浜南、横須賀の5支部からの報告です。



川崎支部 (川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)

支部長 小林 信子 (公益社団法人川崎市看護協会)

キャリアアップに繋がる研修をめざして

平成29年度の支部研修は、研修時のアンケート等より要望に沿って「急変時の看護」「摂食・嚥下障害看護」「看護に必要な心電図の見方」を計画しました。6月の支部大会では「平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向けて」と題し、日本看護協会齋藤訓子副会長に講演していただき、97名が参加しました。

ここで、研修等を開催する支部役員を紹介します。

支部長 小林 信子
副支部長 上田今日子 (川崎市看護協会)
会計 菅 智子 (川崎市立川崎病院)
三富 京子 (中原区役所保健福祉センター)
書記 舘山奈緒子 (川崎市立井田病院)
教育担当 中村 智 (ハートフル川崎病院)
広報担当 秋山 聖子 (帝京大学医学部附属溝口病院)
原田美根子 (川崎市看護協会)

なお、小柳正子さん (慶友会第一病院)、長田誠子さん (川崎市立井田病院) が退任されました。ありがとうございました。



川崎支部大会・講演会



川崎支部役員です。
よろしくお願いいたします。

横浜北支部 (鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区)

支部長 原 久美 (平和会平和病院)

地域連携をめざし、異なる職場の看護職が一堂に学ぶ

7月3日の支部大会を皮切りに今年度の活動を開始しました。中でも、昨年度から実施している西支部と共催の「フィジカルアセスメント」は、好評をいただきシリーズ化して今年度も開催しています。

また、7～8月に開催された「地域連携のための相互研修会」は、神奈川県看護協会地域看護課との初めての共催事業で、支部役員もファシリテーターとして参加しました。

北支部にある訪問看護ステーション、医療機関地域連携部門、介護保険施設等に勤務する看護職が、研修や交流を通して、相互の看護の現状・課題について、それぞれの立場で考え、互いの専門性を知り共有することで豊かな学びが得られました。

今後も、実践に活かせる研修会の実施や「まちの保健室」等をととして地域住民への看護や健康の啓発活動に精力的に取り組んでいきます。



相互研修風景



横浜西支部 (保土ケ谷区、旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区)

支部長 吉澤 壽子 (育生会横浜病院)

地域に根差した健康普及活動と持続可能な地域創造を看護のチカラで

横浜西支部では、「持続可能な地域が創造する地域包括ケアシステムの実現」を活動テーマにしています。7月には「病院からくらしの場へ、もっと活かそう看護の力」と題して訪問看護の実際を取り上げました。「ほぼほぼ在宅・ときどき入院」を実現するために、生活に視点を向け地域看護の力を知ることが、連携していく上で重要だと強く感じました。

また、例年地域での活動を実施していますが、10月に地域住民の健康普及活動として「まちの保健室」を企画し認知症予防を呼びかけ、後期には「認知症ケアの実際」の研修を行いました。

地域の特性を活かし、地域に必要なケアが提供できることが「持続可能」な「継ぎ目のない」看護ケアの実践につながると考え、研修企画や地域への発信などに取り組んでいます。



「病院からくらしの場へ、
もっと活かそう看護の力」
研修風景



西支部役員
 (「まちの保健室」にて)

横浜南支部 (西区、中区、南区、港南区、磯子区、金沢区)

支部長 杉浦 由美子 (横浜市立大学附属病院)

「コミュニケーション」をテーマに研修を企画

平成29年度支部大会では「看護師が知っておくべき経営管理」をテーマに研修を開催しました。経営を考える上では、人材育成やマネジメント、コミュニケーション術の必要性があることを学びました。

医療安全研修では「チーム・ステップス」を開催し、2回チャレンジルールやSBARなどの方法を学びました。

また、災害看護「想定外の事が起きたら」の研修でもコミュニケーションがキーワードでした。

横浜南支部では、今後もコミュニケーション術を用いて、仲間と協力しながら、患者さんに必要な看護を提供していくことをめざして研修会を企画しています。

また「看護を語ろう」をテーマに看護研究発表会も開催します。これからも皆様のニーズに合わせた研修を企画し、多くの方の参加をお待ちしております。



南支部大会・講演会
「看護師が知っておくべき経営管理」



安全管理研修
「チーム・ステップス」

横須賀支部 (横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)

支部長 嘉山 静子 (三浦市立病院)

横須賀支部から発信 「生涯現役で生き生き宣言！」

平成29年2月に認定レジリエンス・トレーニング講師である江口智子先生を招き、研修会を開催しました。現代社会はストレス社会と言われ、仕事でも日常生活でも逆境と呼ばれるできごとがあり、自分でできる気持ちの切り替え方や自分の思いこみのパターンを意識することで、明日からの行動に活かせる研修となりました。自分自身や周囲への良い影響を与えるためのレジリエンス行動について学ぶ機会となりました。

これからも、会員の皆様が生き生きと働き続けるための企画を発信していきます。

第2回 横須賀支部研修会のお知らせ

日時：平成30年2月1日(木) 14:00～16:15

場所：ヴェルクよこすか

テーマ：「レジリエンスを高める～折れない心で働くために～」

講師：江口智子先生



グループワークで
使った動物カード



「レジリエンスを鍛える」
研修風景

役員の推薦及び立候補について

推薦委員長 清水 友見

公益社団法人神奈川県看護協会定款第25条に基づき、空位役員1名の選任並びに平成30年6月に任期満了となる役員について次のとおり改選します。本協会正会員の中から協会活動を推進する有能な人材を得るため、推薦基準に該当する方をご推薦くださいますようお願いいたします。

【選任役職名及び定数】

役 員	定数
常 務 理 事	1 名

【改選役職名及び定数】

役 員	定数	役 員	定数
助産師職能理事	1 名	横 須 賀 支 部 理 事	1 名
横浜北支部理事	1 名	小 田 原 支 部 理 事	1 名
横浜西支部理事	1 名	県 央 支 部 理 事	1 名
横浜南支部理事	1 名		

【任 期】 平成30年6月通常総会の終結の時～
平成32年6月通常総会の終結の時

【問 合 せ】 総務課 総務班 平賀
☎045-263-2914

※届出用紙が必要な場合は、担当までご連絡ください。

【推薦基準】

- 神奈川県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
 - 会員歴が3年以上の人
 - 会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人
 - 公益社団法人神奈川県看護協会定款第21条に規定する役員の欠格事由に該当しない人
- なお、推薦していただく方については、再度推薦委員会で協議検討の上、候補者として推薦させていただきます。

【推薦方法】

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に必要事項を記入の上、平成30年2月28日(水)までに推薦委員長に届け出てください。
提出書類：平成30年度役員推薦書
平成30年度被推薦承諾書

【立候補の方法】

立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、所定用紙に必要事項を記入の上、平成30年2月28日(水)までに、会長に届け出てください。
提出書類：平成30年度役員立候補届

理事会報告

第3回 | 平成29年10月7日(土)

報告事項

1. 日本看護協会理事会・法人会員会について
(7/27・7/28、9/20)
2. 平成30年度 予算等要望活動の実施について
3. 神奈川県・市からの委託事業について
4. 災害支援ナースの育成について
5. 日本看護協会見学について
6. サンリオピューロランドの無料招待について
7. 認定教育課程・研修・学会等について
8. 認定教育班の移転に向けた検討状況

9. 会員交流会について

10. 県民のための講演会について

11. その他

- (1) 看護職の表彰について

意見交換

1. 平成30年度事業計画(案)検討について

会員読者の皆さまへ

会員だけの特典よ！
どんどん応募してね！

お年玉プレゼント ～この機会に、豪華賞品をゲットしよう！～

神奈川県看護協会より、応募された会員読者の方へ
抽選でお年玉プレゼントを差し上げます。

賞 品

- 1 等 30,000円旅行ギフト券 …… 1名様
- 2 等 10,000円全国共通食事券 …… 10名様
- 3 等 5,000円図書カード …… 15名様
- 4 等 3,000円クオカード …… 20名様

注) 賞品は選べません。

【応募方法】

はがき又はメールに ①「お年玉プレゼント希望」②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤会員番号 ⑥看護だよりの感想、気に入った記事等 を記載して神奈川県看護協会へお申し込みください。
お申し込みは、はがきかメールどちらか一方のみで、お一人様1回に限らせていただきます。

【送 付 先】

〒231-0037
横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県看護協会
広報出版委員会 「お年玉プレゼント」宛
メール：kouhou@kana-kango.or.jp

【締 切】

平成30年1月19日(金) 必着

【抽選・発送】

- 厳正な抽選の上決定し、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 記載事項に不備のある方は、無効とします。
- 頂いた個人情報、賞品の発送(2月中旬予定)のみに使用し、他への転用はいたしません。

当選しました！

昨年度当選者の喜びの声

1等 30,000円旅行ギフト券

中身を開けて、主人と飛び上がって喜びました！
行ってみたかった箱根の温泉へ、日頃の疲れを癒しに行きたいと思います。
本当にありがとうございました。



3等 5,000円図書カード

スタッフから応募しようと声をかけられ、共に応募しました。スタッフは当たらなかったですが、在宅往診部門での必要な本を買いたと思います。

2等 10,000円食事券

当選のお知らせとプレゼントをありがとうございました。今まで何かに当選！なんて経験がなかったので、とても嬉しかったです。グルメ券を頂いたので、おいしいものを食べ、今後もお仕事頑張りたいです。

今年も年末年始は勤務だったので、お正月らしい事に触れずじまいでした。当選のお知らせを受け取ってとっても嬉しいです。お食事券を頂いたので、大好きなお肉を食べに行こうと思います。



※この他にも多くの当選者の方から感想を頂きました

「はい、この方が当選です！」
広報出版委員会が行った昨年度の抽選会の様子

4等 3,000円クオカード

今年初めての運試しと思って応募しました。当選するとは思ってなかったのですがとても嬉しいです。職場の皆でおいしいものを食べたいと思います。ありがとうございました。



こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

平成30年度 新規入会・再入会申込み受付中!

◆新規・再入会の方へ

平成30年度の手続き受付中です。

有効期間/平成30年4月1日～平成31年3月31日

入会費/20,000円(県協会へ初めて入会する方)

年会費/11,000円(日看協5,000円+県協会6,000円)

◆継続の方へ

①「2018年度会費のお知らせ」を郵送いたしました。自動継続のため、会員情報に変更がない場合は同封されている「会員情報変更届」の提出は必要ございません。(会員情報の変更・納入方法の変更・口座振替依頼書の再提出が必要等の場合に提出ください。)

※「2018年度会費のお知らせ」が届いていない場合はご連絡ください。

②平成30年度会費納入について

口座振替の方/平成30年1月29日(月)引落予定です。

コンビニ・銀行振込の方/払込用紙でお支払いください。

施設とりまとめの方/担当の方がとりまとめ、施設専用口座へお振込みください。

※継続を希望しない方は12月28日までに県協会へご連絡ください。納入された会費は返金できませんので、ご了承ください。

申込書の請求・ご不明な点等は企画・会員班まで。

平成29年度申込手続きをされた方へ

お手元に会費の振込用紙(コンビニ用・銀行用)がある場合は、早急にご納入ください。また、ご自身の納入の有無の確認については、キャリアスでご確認いただくか県協会へご連絡ください。

※口座振替依頼書不備の方は早急にご返送いただくか、県協会へご連絡ください。

※平成29年度会費の納入確認がとれない場合、平成30年度会費のお知らせが届きませんのでご注意ください。ご不明な点等は下記問合せ先まで。

問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



言語以外の利用者の サインを受け止め、 多職種で日常生活を支援

——社会福祉法人十愛育会
横浜医療福祉センター港南(横浜市港南区)

横浜医療福祉センター港南は、2016年6月に横浜市港南区に新しくオープンした、専門クリニックと重症心身障害者入所施設2部門からなる医療福祉施設です。医師、看護師、生活支援員を中心に、リハビリスタッフやコメディカルが専門性を活かし協働しています。

医療的ケアや常に介護を必要とされる方に対し、宿泊を伴う短期利用や長期にわたる日常生活の支援をおこなっています。当センターをご利用いただく方は、言語によるコミュニケーションが取れません。私たち支援者は「利用者のサインとご家族の思いをきちんと受け止める」ことを基本としています。利用者の健康を維持し、その人らしい生活を送れるよう手助けをすることが看護師の役割です。今後、全棟オープンに向けた準備を進めながら、ケアの質向上に取り組んでいきます。

看護部長 西岡 日登美

新春のつどいご案内

日時/平成30年1月25日(木)

18:00～20:00

場所/横浜ロイヤルパークホテル宴会棟3階
鳳翔の間

会費/6,000円

問合せ/総務課 総務班 ☎045-263-2914

平成30年度教育計画・事業(案) 説明会

日時/平成30年2月28日(水)

13:30～16:30(受付13:00より)

会場/神奈川県ナースセンター研修室
(神奈川県総合医療会館5階)

参加費/無料

応募方法/往復はがきに

①研修名 ②氏名(フリガナ) ③所属施設名

④施設内での役割 ⑤施設電話番号

⑥会員・非会員の別(会員番号)

をご記入の上お申し込みください。

締切/1月31日(水)必着

詳細はホームページをご参照ください。

問合せ/研修課 教育研修班 ☎045-263-2926

認定看護管理者 教育課程募集

◆ファーストレベル

開講期間/平成30年4月26日(木)～9月7日(金)

募集人員/70名程度

募集期間/平成30年1月5日(金)～1月26日(金)

◆セカンドレベル

開講期間/平成30年10月4日(木)～31年3月1日(金)

募集人員/35名程度

募集期間/平成30年5月9日(水)～5月23日(水)

募集要項は、ホームページからダウンロードしてください。

問合せ/研修課 認定教育班 ☎0466-55-3070

助産師職能「児童虐待」研修会開催

日時/平成30年2月23日(金) 9:30～16:30

場所/神奈川県看護協会 6階 第1研修室

内容/①午前/「児童虐待」

講師/日本体育大学 准教授 南部さおり

②午後/「虐待が子どもに何をもたらすか」

講師/ノンフィクション作家 黒川祥子

参加費/非会員:2,000円(会員:無料)(半日でも可)

定員/80名

締切/平成30年2月16日(金)

問合せ/総務課 企画・会員班:齋藤

☎045-263-2918

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

毎年好評をいただいております「お年玉プレゼント」を今年も行います。沢山の会員の方に楽しんでいただきたいと思います企画をさせていただきましたので、ふるってご応募ください。今年も皆様のお役に立てる看護だよりをお届けできるよう委員一同頑張っております。皆様にとって実り多い一年となりますように。

(K・O)